

BCYE 寒天培地(システイン添加)*For microbiological control only*

Legionella BCYE with L-cystein(BCYE)

レジオネラの確認試験用培地

43013 平板培地 10枚(90mm)

貯蔵法

2-8 暗所保存

製品を箱中で保管される場合:2 - 8 暗所で記載の有効期限まで保管できます。18 - 25 では1週間保管できます。
 商品を箱外で保管される場合:正しくセロファンに包装されていれば2-8 の暗所で2週間保管できます。

組成(g/l)

| | |
|-------------------|------|
| 酵母エキス..... | 10 |
| 活性炭..... | 2 |
| ACES/KOH 緩衝液..... | 10 |
| ケトグルタル酸塩..... | 1 |
| 寒天..... | 12 |
| L-システイン塩酸塩..... | 0.4 |
| ピロリン酸鉄..... | 0.25 |
| pH 6.9 | |

製品概要

レジオネラBCYE (システイン添加)は、レジオネラGVPC 寒天培地(品番43031)により検出された水環境中のレジオネラ菌の特徴的なコロニーを二次培養し、分離・確認するのに適した培地です。

本培地は、レジオネラBCYE (システイン無添加)(品番43023)と同時に使用します。本培地上で生育し、レジオネラBCYE (システイン無添加)上で生育しない場合、レジオネラ菌と確認できます。

レジオネラBCYE (システイン添加)はNFT90-431およびISO11731に準拠しています。

原理

レジオネラBCYE (システイン添加)は非選択培地です。レジオネラ菌生育必須アミノ酸であるL-システインが含まれています。

活性炭が、酵母エキスに含まれる生育阻害因子を吸着し、レジオネラ菌の生育が促進されます。

ACES緩衝液により、培地はレジオネラ菌の生育に至適のpH6.9に保たれます。

使用法

1. **使用前に培地を室温に戻して下さい。**
2. サンプル接種は標準法に従って下さい。一般にレジオネラGVPC寒天培地(品番43031)上で検出された疑わしいコロニーを本培地とレジオネラBCYE (システイン無添加)(品番43023)上で確認します。レジオネラBCYE (システイン無添加)(品番43023)は、血液寒天培地で代用することができます。
3. 標準法に従い、サンプル接種後 37 ± 1 で2~3日間培養してください。レジオネラ菌のうち数種は3日間の培養が適しています。

判定

レジオネラ菌は、レジオネラBCYE (システイン添加)培地上で生育し、レジオネラBCYE (システイン無添加)培地上で生育しません。また同定試験をする前に試験菌がグラム陰性菌であるか確認することが推奨されています。

使用上の注意事項

3日間培養すると、レジオネラBCYE (システイン無添加)上でレジオネラ菌がわずかに生育することがありますが、これはレジオネラBCYE (システイン添加)培地上で観察されるものと比べて明らかに小さいです。

留意事項

- 全ての検体の培養や接種物は感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい。
- 無菌操作および細菌を取扱う上で必要な注意事項に留意して下さい。
- 安全ガイドライン: NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue, Approved Guideline - December 1997» 操作留意事項: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories, HHS Publication No. (CDC) 93-8395, 3rd Edition (May 1993)、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- 包装が破損している製品は使用しないで下さい。
- 汚染されている、または液が浸出している培地製品は使用しないで下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

参考文献

1. PASCULLE W. - Update on Legionella - Clinical Microbiology Newsletter, July 1, 2000, 22, 13.
2. SQUINAZI F., NAHAPETIAN K. - Legionella pneumophila methodes de recherche chez l'homme et dans l'environnement - Revue française des laboratoires, avril 1988, n° 172
3. Circulaire DGS N° 97/311 du 24 avril.1997, relative à la surveillance et à la prévention des Légionellose.
4. Circulaire DGS N° 98/771 du 31 décembre 1998, relative à la mise en oeuvre de bonnes pratiques d'entretien des réseaux d'eau dans les établissements de santé et aux moyens de prévention du risque lié aux Legionelles dans les installations à risque et dans celles des bâtiments recevant du public.
5. Norme NF T90-431 - Recherche et dénombrement des *Legionella* et *Legionella pneumophila* (novembre 1993) - Méthode générale par ensemencement direct et filtration sur membrane - ISSN 0335-3931..
6. Norme ISO 11731 - Qualité de l'eau - Recherche et dénombrement des *Legionella*.

廃棄処理

起こりうる危険を適切に考慮の上、使用者の責任の元、廃棄産物や流出産物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号
大崎セントラルタワー8階

bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile / France
Tel. (33) 0.4 78 87 20 00 / Fax (33) 0.4 78 87 20 90
<http://www.biomerieux.com>